

シラバス

科目名	憲法		担当者名	太田 信		
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修 <u>選択</u> ・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)	
授業目的	憲法についての基本的な知識を理解し、習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本国憲法の重要な論点を中心に、それに関連する判例・学説等を理解する。					
授業概要	講義形式で行う。上記の授業目標を踏まえ、日本国憲法の基本的人権・統治機構それぞれの分野について指導する。また、中央大学通信教育部の単位を取得に必要な、論文の書き方等についても指導する。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション		19	第3課題Ⅰ(議員定数不均衡 総論)	
	2	憲法の基礎Ⅰ(立憲主義)		20	第3課題Ⅱ(参議院と議員定数不均衡)	
	3	憲法の基礎Ⅱ(基本的人権 総論)		21	第3課題Ⅲ(まとめ)	
	4	憲法の基礎Ⅲ(統治機構 総論)		22	第4課題Ⅰ(問①について)	
	5	第1課題Ⅰ(憲法13条)		23	第4課題Ⅱ(問②について)	
	6	第1課題Ⅱ(憲法14条)		24	第4課題Ⅲ(まとめ)	
	7	第1課題Ⅲ(憲法24条・まとめ)		25	経済活動の自由(職業選択の自由等)	
	8	第2課題Ⅰ(公務員と基本的人権)		26	経済活動の自由(財産権等)	
	9	第2課題Ⅱ(猿払事件・堀越事件)		27	人身の自由	
	10	第2課題Ⅲ(まとめ)		28	社会権	
	11	人権享有主体性		29	国務請求権・国民の義務	
	12	幸福追求権(プライバシー権等)		30	国会	
	13	法の下での平等		31	内閣	
	14	思想・良心の自由		32	裁判所	
	15	信教の自由・政教分離		33	違憲審査	
	16	表現の自由①(意義・限界等)		34	財政	
	17	表現の自由②(集会の自由等)		35	地方自治	
18	期末テスト		36	期末テスト		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度	20%				
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	担当教員は、中央大学通信教育部インストラクターである。					

シラバス

科目名	民法3(債権総論)		担当者名	宮坂 友造	
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・(選択)・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	債権総論の全体像および民法債権編の399条～520条で定められている各規定の基本的知識(意義・要件・効果など)を理解し、条文解釈の方法、判例の読み方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事例問題を通して、論点を発見する能力、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験にも対応できる基本的な能力を身につけることを目標とします。				
授業概要	民法は、市民社会の関係を規律する法として最も重要な基本法です。本講義では、その中の民法第3編「債権」のうちの第1章総則を直接の対象とします。債権とは、「ある特定の者が他の特定の者に対して一定の行為ををなすべきことを請求しうる権利」です。例えば、ジュースを買う(売買契約)の場合、買主は売主に対しジュースの引渡しを請求する権利(債権)を有し、売主は買主に対し代金の支払いを請求する権利(債権)を有します。 このような債権は、その発生原因によって、債権の発生要件および当該債権に特有の事柄が異なります(これについては、債権各論で扱います)。しかし、他方では、全ての債権に共通する事柄もあります。本講義では、この共通する事柄、具体的には、①債権の目的、②債権の効力、③多数当事者の債権・債務関係、④債権譲渡、⑤債権の消滅という5つの項目を扱うことになります。ただし、これらはその抽象性から、具体的にどのような事柄に結びつくのか分かりにくいという問題があります。 そこで、本講義では、毎回レジュメを配布し、わかりやすい設例を挙げながら学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション1		19	多数当事者の債権債務関係①～概説、諸類型
	2	オリエンテーション2		20	多数当事者の債権債務関係②～分割債務
	3	オリエンテーション3		21	多数当事者の債権債務関係③～不可分債務
	4	債権とは 債権の種類		22	多数当事者の債権債務関係④～連帯債務 i
	5	種類債権の特定		23	多数当事者の債権債務関係⑤～連帯債務 ii
	6	債務不履行①		24	多数当事者の債権債務関係⑥～保証債務 i
	7	債務不履行②		25	多数当事者の債権債務関係⑦～保証債務 ii
	8	債務不履行に基づく損害賠償		26	多数当事者の債権債務関係⑧～保証債務 iii
	9	弁済、弁済の提供		27	弁済以外の債権消滅原因
	10	受領遅滞		28	まとめ1
	11	相殺		29	まとめ2
	12	債権者代位権①		30	まとめ3
	13	債権者代位権②		31	まとめ4
	14	詐害行為取消権①		32	まとめ5
	15	詐害行為取消権②		33	まとめ6
	16	債権譲渡①		34	確認テスト①
	17	債権譲渡②		35	確認テスト②
	18	債権と第三者		36	確認テスト③
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	前期・後期成績表送付
	学習態度	40%			
	レポート	60%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	民法4(債権各論)		担当者名	宮坂 友造		
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修(選択)・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)	
授業目的	債権各論の位置づけおよび民法債権編の各論部分(521条～724条)で定められている各規定の基本的知識(意義・要件・効果など)を理解し、条文解釈の意義および方法、判例の読み方を習得することを目的とします。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事例問題を通して、論点を発見する能力、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験にも対応できる基本的な能力を身につけることを目標とします。					
授業概要	本講義では、民法第3編「債権」のうちの第2章から第5章までを直接の対象とします。債権は、その発生原因によって、契約に基づく債権と法律の規定に基づく債権に大別され、その発生要件および当該債権に特有の事柄が異なります。まず、契約に基づく債権については、契約に共通する事柄(契約の成立・効力・解除)と個別的な契約類型に分けて授業を行います。そして、法律の規定に基づく債権として、事務管理、不当利得、不法行為の3つがあり、これについて授業を行います。本講義では、以上の内容について、毎回レジュメを配布し、わかりやすい設例を挙げながら学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション		19	役務提供型契約①～雇用、請負	
	2	債権各論概説		20	役務提供型契約②～委任、寄託	
	3	契約とは		21	その他の契約～和解など	
	4	契約の種類		22	不法行為①～一般不法行為	
	5	同時履行の抗弁権		23	不法行為②～特殊な不法行為	
	6	危険負担		24	不当利得①～要件・効果	
	7	契約の解除①～要件		25	不当利得②～転用物訴権、不法原因給付	
	8	契約の解除②～効果		26	事務管理	
	9	売買		27	まとめ1	
	10	契約不適合責任(担保責任)①		28	まとめ2	
	11	契約不適合責任(担保責任)②		29	まとめ3	
	12	契約不適合責任(担保責任)③		30	まとめ4	
	13	賃貸借①～意義、借地借家法		31	まとめ5	
	14	賃貸借②～賃借権の譲渡・転貸 i		32	まとめ6	
	15	賃貸借③～賃借権の譲渡 ii		33	まとめ7	
	16	賃貸借④～第三者との関係		34	確認テスト①	
	17	使用貸借		35	確認テスト②	
	18	消費貸借		36	確認テスト③	
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%				
	レポート	60%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり					

シラバス

科目名	行政書士対策1		担当者名	宮坂 友造		
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	6 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・ 選択 ・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)	
授業目的	行政書士試験で必要となる民法(特に総則、物権)と行政法について学びます。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	法律の学習では、ある法律効果を生じさせるためにはどのような要件を備えている必要があるのかという「要件・効果」を理解することが重要となります。また、行政書士試験では、法的思考力を問われる傾向が見られます。この講義では、民法・行政法に関する基礎的な法的知識と法的思考力を身に付けることを目標とします。					
授業概要	授業中はテキストを用い、行政書士試験において必要となる民法、行政法の基礎的知識を解説します。また六法で条文を参照したり、判例を読むことも行います。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション		19	行政法④～行政行為	
	2	民法総則①～自然人		20	行政法⑤～行政裁量	
	3	民法総則②～法人		21	行政法⑥～行政手続法 i	
	4	民法総則③～法律行為		22	行政法⑦～行政手続法 ii	
	5	民法総則④～意思表示、心裡留保		23	行政法⑧～行政不服審査法 i	
	6	民法総則⑤～虚偽表示		24	行政法⑨～行政不服審査法 ii	
	7	民法総則⑥～錯誤		25	行政法⑩～行政事件訴訟法 i	
	8	民法総則⑦～詐欺・強迫		26	行政法⑪～行政事件訴訟法 ii	
	9	民法総則⑧～代理、無権代理		27	行政法⑫～国家賠償法	
	10	民法総則⑨～表見代理		28	行政法⑬～損失補償	
	11	民法物権①～物権とは		29	行政法⑭～地方自治	
	12	民法物権②～不動産物権変動		30	まとめ①	
	13	民法物権③～動産物権変動		31	まとめ②	
	14	民法物権④～担保物権総論		32	まとめ③	
	15	民法物権⑤～抵当権		33	まとめ④	
	16	行政法①～総論		34	まとめ⑤	
	17	行政法②～行政主体と行政機関		35	まとめ⑥	
18	行政法③～行政作用法		36	まとめ⑦		
成績割合	テスト	60%		学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%				
	レポート	0%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり					

シラバス

科目名	宅建対策1		担当者名	鈴木 健二	
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・(選択)・必修選択	授業時間数	36階時間(週講時数1)
授業目的	実社会における法律の役割・解釈・運用方法を学ぶことと業界における行政の役割について学ぶことを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	本講座は国家資格(法律分野)の登竜門である宅建試験合格を目標にし、実社会における法律の役割・解釈・運用方法を学ぶことを目的とする。さらに業界における行政の役割について学ぶことを目的とする。				
授業概要	1.宅建試験の概要と傾向 2.基本書の理解を課題(小テスト)において確認する。 3.テーマを設定し、ゼミ形式にて発表、課題の発掘と解決する。 4.過去問(模擬試験含む)答練と分析(弱み・強み) 5.授業まとめ				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	授業オリエンテーション		19	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 意思能力・8種制限
	2	〃		20	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 時効・代理・8種制限
	3	〃		21	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 賃貸借契・借地借家法・8種制限
	4	講義概要・指針・自己紹介		22	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 不法行為・弁済・相殺・
	5	宅:用語の定義・免許制度(免許取消)		23	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・債務不履行
	6	宅:宅地建物取引士制度		24	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・区分所有法
	7	宅:営業保証金・保証協会・広告・媒介契		25	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・税概要
	8	宅:重要事項・契約時期・書面交付帳簿・		26	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・不動産取得税
	9	宅:8種制限		27	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・固定資産税
	10	宅:報酬・監督・罰則		28	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・税概要
	11	法:都市計画1(都市計画の内容・決定・		29	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・不動産取得税
	12	法:都市計画2(開発行為・建築規制・他)		30	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・固定資産税
	13	法:建築基準1(建築確認・協定・道路定義)		31	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・農地法・国土利用計画法
	14	法:建築基準法2(用途制限・容積・建蔽率)		32	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 地価公示法・不動産鑑定
	15	法:国土利用計画法・農地法		33	確認テスト・まとめ
	16	2020試験対策		34	授業まとめ/振り返り
	17	2020試験解答、まとめ		35	〃
18	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 制限行為能力者・8種制限		36	〃	
成績割合	テスト	40%		学習FB方法	講義後に小テストを実施し解答合わせと復習 テーマの発表と質疑応答
	学習態度	30%			
	レポート	30%		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	鈴木健二行政書士事務所所長、民間の資格学校にて10年以上の指導経験(宅建・行政書士)を有する。又、民間企業の法務、宅建の実務 多数実施。				

シラバス

科目名	Word1		担当者名	大貫 芳枝	
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	Wordの実践的な操作方法をを学びつつ、履歴書に書ける認定資格のMOSの取得を目指す				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになること、文字入力及早く正確にできること、を意識して学習を積み上げ、学年末のMOS取得を目指す。MOS取得者は成績は満点とする。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書の書き方も解説 ・定期試験に実践的なビジネス文書作成を取り入れ実務に役立つスキルや知識も習得 ・年度末のMOS試験に向けてのスキルアップを行う 				
授業計画表	前期	授業内容	後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	図の挿入/図形の描画	
	2	オリエンテーション2	20	図の挿入/図形の描画	
	3	オリエンテーション3	21	参考資料の作成と管理	
	4	Wordの基本操作	22	参考資料の作成と管理	
	5	ビジネス文書について	23	スタイル設定、アウトライン	
	6	ページ設定と書式	24	スタイル設定、アウトライン	
	7	文字書式、段落書式	25	総合問題	
	8	文字書式、段落書式	26	総合問題	
	9	簡単な表のあるビジネス文書	27	総合問題	
	10	箇条書きのあるビジネス文書	28	MOS模擬問題練習	
	11	ビジネス文書課題	29	MOS模擬問題練習	
	12	印刷、ファイルの種類、プロパティ	30	MOS模擬問題練習	
	13	表やリストの作成	31	MOS模擬問題練習	
	14	表やリストの作成	32	MOS模擬問題練習	
	15	ヘッダーフッター、ページの管理	33	MOS模擬問題練習	
	16	前期期末試験	34	確認テスト・まとめ1	
	17	前期期末試験の解答解説	35	確認テスト・まとめ2	
	18	図の挿入/図形の描画	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	100%	学習FB方法		
	学習態度				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60 ~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	長年のIT系インストラクターとしての経験と、NPO法人理事として企画経営に参画し、管理業務でのAccess・Excel作成処理や対外的なビジネス文書作成などの実務、さらに新入社員研修等での講師経験も合わせ、「今望まれるITスキルの習得」ができる授業を心がけている。				

シラバス

科目名	民法3(債権総論)		担当者名	宮坂 友造		
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・(選択)・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)	
授業目的	債権総論の全体像および民法債権編の399条～520条で定められている各規定の基本的知識(意義・要件・効果など)を理解し、条文解釈の方法、判例の読み方を習得することを目的とします。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事例問題を通して、論点を発見する能力、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験にも対応できる基本的な能力を身につけることを目標とします。					
授業概要	民法は、市民社会の関係を規律する法として最も重要な基本法です。本講義では、その中の民法第3編「債権」のうちの第1章総則を直接の対象とします。債権とは、「ある特定の者が他の特定の者に対して一定の行為ををなすべきことを請求しうる権利」です。例えば、ジュースを買う(売買契約)の場合、買主は売主に対しジュースの引渡しを請求する権利(債権)を有し、売主は買主に対し代金の支払いを請求する権利(債権)を有します。 このような債権は、その発生原因によって、債権の発生要件および当該債権に特有の事柄が異なります(これについては、債権各論で扱います)。しかし、他方では、全ての債権に共通する事柄もあります。本講義では、この共通する事柄、具体的には、①債権の目的、②債権の効力、③多数当事者の債権・債務関係、④債権譲渡、⑤債権の消滅という5つの項目を扱うことになります。ただし、これらはその抽象性から、具体的にどのような事柄に結びつくのか分かりにくいという問題があります。 そこで、本講義では、毎回レジュメを配布し、わかりやすい設例を挙げながら学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1		19	多数当事者の債権債務関係①～概説、諸類型	
	2	オリエンテーション2		20	多数当事者の債権債務関係②～分割債務	
	3	オリエンテーション3		21	多数当事者の債権債務関係③～不可分債務	
	4	債権とは 債権の種類		22	多数当事者の債権債務関係④～連帯債務 i	
	5	種類債権の特定		23	多数当事者の債権債務関係⑤～連帯債務 ii	
	6	債務不履行①		24	多数当事者の債権債務関係⑥～保証債務 i	
	7	債務不履行②		25	多数当事者の債権債務関係⑦～保証債務 ii	
	8	債務不履行に基づく損害賠償		26	多数当事者の債権債務関係⑧～保証債務 iii	
	9	弁済、弁済の提供		27	弁済以外の債権消滅原因	
	10	受領遅滞		28	まとめ1	
	11	相殺		29	まとめ2	
	12	債権者代位権①		30	まとめ3	
	13	債権者代位権②		31	まとめ4	
	14	詐害行為取消権①		32	まとめ5	
	15	詐害行為取消権②		33	まとめ6	
	16	債権譲渡①		34	確認テスト①	
	17	債権譲渡②		35	確認テスト②	
18	債権と第三者		36	確認テスト③		
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%				
	レポート	60%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり					

シラバス

科目名	民法4(債権各論)		担当者名	宮坂 友造		
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修(選択)・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)	
授業目的	債権各論の位置づけおよび民法債権編の各論部分(521条～724条)で定められている各規定の基本的知識(意義・要件・効果など)を理解し、条文解釈の意義および方法、判例の読み方を習得することを目的とします。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事例問題を通して、論点を発見する能力、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験にも対応できる基本的な能力を身につけることを目標とします。					
授業概要	本講義では、民法第3編「債権」のうちの第2章から第5章までを直接の対象とします。債権は、その発生原因によって、契約に基づく債権と法律の規定に基づく債権に大別され、その発生要件および当該債権に特有の事柄が異なります。まず、契約に基づく債権については、契約に共通する事柄(契約の成立・効力・解除)と個別的な契約類型に分けて授業を行います。そして、法律の規定に基づく債権として、事務管理、不当利得、不法行為の3つがあり、これについて授業を行います。本講義では、以上の内容について、毎回レジュメを配布し、わかりやすい設例を挙げながら学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション		19	役務提供型契約①～雇用、請負	
	2	債権各論概説		20	役務提供型契約②～委任、寄託	
	3	契約とは		21	その他の契約～和解など	
	4	契約の種類		22	不法行為①～一般不法行為	
	5	同時履行の抗弁権		23	不法行為②～特殊な不法行為	
	6	危険負担		24	不当利得①～要件・効果	
	7	契約の解除①～要件		25	不当利得②～転用物訴権、不法原因給付	
	8	契約の解除②～効果		26	事務管理	
	9	売買		27	まとめ1	
	10	契約不適合責任(担保責任)①		28	まとめ2	
	11	契約不適合責任(担保責任)②		29	まとめ3	
	12	契約不適合責任(担保責任)③		30	まとめ4	
	13	賃貸借①～意義、借地借家法		31	まとめ5	
	14	賃貸借②～賃借権の譲渡・転貸 i		32	まとめ6	
	15	賃貸借③～賃借権の譲渡 ii		33	まとめ7	
	16	賃貸借④～第三者との関係		34	確認テスト①	
	17	使用貸借		35	確認テスト②	
	18	消費貸借		36	確認テスト③	
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%				
	レポート	60%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり					

シラバス

科目名	民法5(親族・相続)		担当者名	白 瑞	
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・ 通 年 必 修・ 選 択 ・必修選択	授 業 時 間 数	72時 間(週講時数2)
授業目的	親族法・相続法の諸制度とその運用を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	親族法・相続法上の諸制度とその運用について学び、そのうえで、これらの制度の問題点もを理解することを達成目標とする。				
授業概要	本講義は、親族法・相続法を対象とする。親族法は、夫婦、親子および他の親族間の関係を規律し、相続法は、死者の法であり、人の死による財産の変動を規律している。これらの領域は一般に家族法と呼ばれ、財産法と異なる原理に基づいて制定されている。				
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容
	1	オリエンテーション1		19	親権(1) 身上監護・財産管理
	2	オリエンテーション2		20	親権(2) 児童虐待・親権制限・児童福祉法関連
	3	オリエンテーション3		21	未成年後見
	4	婚姻の成立要件		22	成年後見
	5	婚姻の無効・取消し		23	扶養
	6	婚姻の効果(1) 夫婦の氏、貞操義務		24	相続法総論
	7	婚姻の効果(2) 夫婦財産制		25	相続人
	8	協議離婚・裁判離婚		26	相続の承認と放棄
	9	離婚の効果(1) 財産分与		27	相続財産
	10	離婚の効果(2) 子の処遇等		28	具体的相続分
	11	内縁		29	遺産共有
	12	レポート課題(1)		30	遺産分割
	13	レポート課題(2)		31	相続回復請求権
	14	実親子法(1) 嫡出推定制度		32	遺言
	15	実親子法(2) 推定の及ばない子		33	遺留分
	16	実親子法(3) 認知制度		34	確認テスト・まとめ1
	17	養子法(1) 普通養子		35	確認テスト・まとめ2
18	養子法(2) 「藁の上からの養子」・特別養子		36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト		0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度		30%		
	レポート		70%	成績評価	出席率70%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	行政書士対策1		担当者名	宮坂 友造	
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・ 選択 ・必修選択	授業時間数	144時間(週講時数4)
授業目的	行政書士試験で必要となる商法と一般知識および民法の債権法・家族法について学びます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	この講義では、商法、民法(債権法・家族法)に関する基礎的な法的知識と法的思考力、および行政書士試験に必要な一般知識を身に着けることを目標とします。				
授業概要	授業中はテキストを用い、行政書士試験において必要となる商法、民法、一般常識の基礎的知識を解説します。また六法で条文を参照したり、判例を読むことも行います。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション		19	一般知識⑤～経済 ii
	2	商法総則①～商人、商業登記		20	一般知識⑥～社会
	3	商行為		21	家族法①～婚姻
	4	会社法総論		22	家族法②～親子 i
	5	会社の種類・分類		23	家族法③～親子 ii
	6	持分会社		24	家族法④～親権
	7	株式会社①～総論		25	家族法⑤～親権 ii
	8	株式会社②～株式		26	家族法⑥～親権 iii
	9	株式会社③～機関 i		27	家族法まとめ
	10	株式会社④～機関 ii		28	債権法①～責任財産保全 i
	11	株式会社⑤～機関 iii		29	債権法①～責任財産保全 ii
	12	株式会社⑥～設立、資金調達		30	債権法②～債権譲渡 i
	13	株式会社⑦～組織変更など		31	債権法②～債権譲渡 ii
	14	会社法まとめ		32	債権法③～契約法総論 i
	15	一般知識①～政治 i		33	債権法③～契約法総論 ii
	16	一般知識②～政治 ii		34	債権法④～契約不適合責任 i
	17	一般知識③～政治 iii		35	債権法④～契約不適合責任 ii
18	一般知識④～経済 i		36	債権法まとめ	
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期成績表送付
	学習態度		40%		
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	宅建対策1		担当者名	鈴木 健二	
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・(選択)・必修選択	授業時間数	36階時間(週講時数1)
授業目的	実社会における法律の役割・解釈・運用方法を学ぶことと業界における行政の役割について学ぶことを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	本講座は国家資格(法律分野)の登竜門である宅建試験合格を目標にし、実社会における法律の役割・解釈・運用方法を学ぶことを目的とする。さらに業界における行政の役割について学ぶことを目的とする。				
授業概要	1.宅建試験の概要と傾向 2.基本書の理解を課題(小テスト)において確認する。 3.テーマを設定し、ゼミ形式にて発表、課題の発掘と解決する。 4.過去問(模擬試験含む)答練と分析(弱み・強み) 5.授業まとめ				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	授業オリエンテーション		19	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 意思能力・8種制限
	2	〃		20	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 時効・代理・8種制限
	3	〃		21	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 賃貸借契・借地借家法・8種制限
	4	講義概要・指針・自己紹介		22	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 不法行為・弁済・相殺・
	5	宅:用語の定義・免許制度(免許取消)		23	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・債務不履行
	6	宅:宅地建物取引士制度		24	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・区分所有法
	7	宅:営業保証金・保証協会・広告・媒介契		25	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・税概要
	8	宅:重要事項・契約時期・書面交付帳簿・		26	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・不動産取得税
	9	宅:8種制限		27	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・固定資産税
	10	宅:報酬・監督・罰則		28	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・税概要
	11	法:都市計画1(都市計画の内容・決定・		29	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・不動産取得税
	12	法:都市計画2(開発行為・建築規制・他)		30	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・固定資産税
	13	法:建築基準1(建築確認・協定・道路定義)		31	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・農地法・国土利用計画法
	14	法:建築基準法2(用途制限・容積・建蔽率)		32	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 地価公示法・不動産鑑定
	15	法:国土利用計画法・農地法		33	確認テスト・まとめ
	16	2020試験対策		34	授業まとめ/振り返り
	17	2020試験解答、まとめ		35	〃
18	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 制限行為能力者・8種制限		36	〃	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	講義後に小テストを実施し解答合わせと復習 テーマの発表と質疑応答	
	学習態度	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	鈴木健二行政書士事務所所長、民間の資格学校にて10年以上の指導経験(宅建・行政書士)を有する。又、民間企業の法務、宅建の実務 多数実施。				

シラバス

科目名	Word1		担当者名	大貫 芳枝	
学科	法律情報科(法律情報コース)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	Wordの実践的な操作方法をを学びつつ、履歴書に書ける認定資格のMOSの取得を目指す				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになること、文字入力及早く正確にできること、を意識して学習を積み上げ、学年末のMOS取得を目指す。MOS取得者は成績は満点とする。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書の書き方も解説 ・定期試験に実践的なビジネス文書作成を取り入れ実務に役立つスキルや知識も習得 ・年度末のMOS試験に向けてのスキルアップを行う 				
授業計画表	前期	授業内容	後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	2	オリエンテーション2	20	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	3	オリエンテーション3	21	参考資料の作成と管理	
	4	Wordの基本操作	22	参考資料の作成と管理	
	5	ビジネス文書について	23	スタイル設定、アウトライン	
	6	ページ設定と書式	24	スタイル設定、アウトライン	
	7	文字書式、段落書式	25	総合問題	
	8	文字書式、段落書式	26	総合問題	
	9	簡単な表のあるビジネス文書	27	総合問題	
	10	箇条書きのあるビジネス文書	28	MOS模擬問題練習	
	11	ビジネス文書課題	29	MOS模擬問題練習	
	12	印刷、ファイルの種類、プロパティ	30	MOS模擬問題練習	
	13	表やリストの作成	31	MOS模擬問題練習	
	14	表やリストの作成	32	MOS模擬問題練習	
	15	ヘッダーフッター、ページの管理	33	MOS模擬問題練習	
	16	前期期末試験	34	確認テスト・まとめ1	
	17	前期期末試験の解答解説	35	確認テスト・まとめ2	
	18	表作成課題(相対参照と絶対参照)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	100%	学習FB方法		
	学習態度				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60 ~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	長年のIT系インストラクターとしての経験と、NPO法人理事として企画経営に参画し、管理業務でのAccess・Excel作成処理や対外的なビジネス文書作成などの実務、さらに新入社員研修等での講師経験も合わせ、「今望まれるITスキルの習得」ができる授業を心がけている。				

シラバス

科目名	憲法		担当者名	太田 信		
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修 <u>選択</u> ・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)	
授業目的	憲法についての基本的な知識を理解し、習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本国憲法の重要な論点を中心に、それに関連する判例・学説等を理解する。					
授業概要	講義形式で行う。上記の授業目標を踏まえ、日本国憲法の基本的人権・統治機構それぞれの分野について指導する。また、中央大学通信教育部の単位を取得に必要な、論文の書き方等についても指導する。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション		19	第3課題Ⅰ(議員定数不均衡 総論)	
	2	憲法の基礎Ⅰ(立憲主義)		20	第3課題Ⅱ(参議院と議員定数不均衡)	
	3	憲法の基礎Ⅱ(基本的人権 総論)		21	第3課題Ⅲ(まとめ)	
	4	憲法の基礎Ⅲ(統治機構 総論)		22	第4課題Ⅰ(問①について)	
	5	第1課題Ⅰ(憲法13条)		23	第4課題Ⅱ(問②について)	
	6	第1課題Ⅱ(憲法14条)		24	第4課題Ⅲ(まとめ)	
	7	第1課題Ⅲ(憲法24条・まとめ)		25	経済活動の自由(職業選択の自由等)	
	8	第2課題Ⅰ(公務員と基本的人権)		26	経済活動の自由(財産権等)	
	9	第2課題Ⅱ(猿払事件・堀越事件)		27	人身の自由	
	10	第2課題Ⅲ(まとめ)		28	社会権	
	11	人権享有主体性		29	国務請求権・国民の義務	
	12	幸福追求権(プライバシー権等)		30	国会	
	13	法の下での平等		31	内閣	
	14	思想・良心の自由		32	裁判所	
	15	信教の自由・政教分離		33	違憲審査	
	16	表現の自由①(意義・限界等)		34	財政	
	17	表現の自由②(集会の自由等)		35	地方自治	
18	期末テスト		36	期末テスト		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度	20%				
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	担当教員は、中央大学通信教育部インストラクターである。					

シラバス

科目名	民法3(債権総論)		担当者名	宮坂 友造		
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・(選択)・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)	
授業目的	債権総論の全体像および民法債権編の399条～520条で定められている各規定の基本的知識(意義・要件・効果など)を理解し、条文解釈の方法、判例の読み方を習得することを目的とします。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事例問題を通して、論点を発見する能力、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験にも対応できる基本的な能力を身につけることを目標とします。					
授業概要	民法は、市民社会の関係を規律する法として最も重要な基本法です。本講義では、その中の民法第3編「債権」のうちの第1章総則を直接の対象とします。債権とは、「ある特定の者が他の特定の者に対して一定の行為ををなすべきことを請求しうる権利」です。例えば、ジュースを買う(売買契約)の場合、買主は売主に対しジュースの引渡しを請求する権利(債権)を有し、売主は買主に対し代金の支払いを請求する権利(債権)を有します。 このような債権は、その発生原因によって、債権の発生要件および当該債権に特有の事柄が異なります(これについては、債権各論で扱います)。しかし、他方では、全ての債権に共通する事柄もあります。本講義では、この共通する事柄、具体的には、①債権の目的、②債権の効力、③多数当事者の債権・債務関係、④債権譲渡、⑤債権の消滅という5つの項目を扱うことになります。ただし、これらはその抽象性から、具体的にどのような事柄に結びつくのか分かりにくいという問題があります。 そこで、本講義では、毎回レジュメを配布し、わかりやすい設例を挙げながら学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1		19	多数当事者の債権債務関係①～概説、諸類型	
	2	オリエンテーション2		20	多数当事者の債権債務関係②～分割債務	
	3	オリエンテーション3		21	多数当事者の債権債務関係③～不可分債務	
	4	債権とは 債権の種類		22	多数当事者の債権債務関係④～連帯債務 i	
	5	種類債権の特定		23	多数当事者の債権債務関係⑤～連帯債務 ii	
	6	債務不履行①		24	多数当事者の債権債務関係⑥～保証債務 i	
	7	債務不履行②		25	多数当事者の債権債務関係⑦～保証債務 ii	
	8	債務不履行に基づく損害賠償		26	多数当事者の債権債務関係⑧～保証債務 iii	
	9	弁済、弁済の提供		27	弁済以外の債権消滅原因	
	10	受領遅滞		28	まとめ1	
	11	相殺		29	まとめ2	
	12	債権者代位権①		30	まとめ3	
	13	債権者代位権②		31	まとめ4	
	14	詐害行為取消権①		32	まとめ5	
	15	詐害行為取消権②		33	まとめ6	
	16	債権譲渡①		34	確認テスト①	
	17	債権譲渡②		35	確認テスト②	
18	債権と第三者		36	確認テスト③		
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%				
	レポート	60%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり					

シラバス

科目名	民法4(債権各論)		担当者名	宮坂 友造		
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修(選択)・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)	
授業目的	債権各論の位置づけおよび民法債権編の各論部分(521条～724条)で定められている各規定の基本的知識(意義・要件・効果など)を理解し、条文解釈の意義および方法、判例の読み方を習得することを目的とします。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事例問題を通して、論点を発見する能力、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験にも対応できる基本的な能力を身につけることを目標とします。					
授業概要	本講義では、民法第3編「債権」のうちの第2章から第5章までを直接の対象とします。債権は、その発生原因によって、契約に基づく債権と法律の規定に基づく債権に大別され、その発生要件および当該債権に特有の事柄が異なります。まず、契約に基づく債権については、契約に共通する事柄(契約の成立・効力・解除)と個別的な契約類型に分けて授業を行います。そして、法律の規定に基づく債権として、事務管理、不当利得、不法行為の3つがあり、これについて授業を行います。本講義では、以上の内容について、毎回レジュメを配布し、わかりやすい設例を挙げながら学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション		19	役務提供型契約①～雇用、請負	
	2	債権各論概説		20	役務提供型契約②～委任、寄託	
	3	契約とは		21	その他の契約～和解など	
	4	契約の種類		22	不法行為①～一般不法行為	
	5	同時履行の抗弁権		23	不法行為②～特殊な不法行為	
	6	危険負担		24	不当利得①～要件・効果	
	7	契約の解除①～要件		25	不当利得②～転用物訴権、不法原因給付	
	8	契約の解除②～効果		26	事務管理	
	9	売買		27	まとめ1	
	10	契約不適合責任(担保責任)①		28	まとめ2	
	11	契約不適合責任(担保責任)②		29	まとめ3	
	12	契約不適合責任(担保責任)③		30	まとめ4	
	13	賃貸借①～意義、借地借家法		31	まとめ5	
	14	賃貸借②～賃借権の譲渡・転貸 i		32	まとめ6	
	15	賃貸借③～賃借権の譲渡 ii		33	まとめ7	
	16	賃貸借④～第三者との関係		34	確認テスト①	
	17	使用貸借		35	確認テスト②	
	18	消費貸借		36	確認テスト③	
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%				
	レポート	60%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり					

シラバス

科目名	行政書士対策1		担当者名	宮坂 友造		
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	6 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・ 選択 ・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)	
授業目的	行政書士試験で必要となる民法(特に総則、物権)と行政法について学びます。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	法律の学習では、ある法律効果を発生させるためにはどのような要件を備えている必要があるのかという「要件・効果」を理解することが重要となります。また、行政書士試験では、法的思考力を問われる傾向が見られます。この講義では、民法・行政法に関する基礎的な法的知識と法的思考力を身に付けることを目標とします。					
授業概要	授業中はテキストを用い、行政書士試験において必要となる民法、行政法の基礎的知識を解説します。また六法で条文を参照したり、判例を読むことも行います。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション		19	行政法④～行政行為	
	2	民法総則①～自然人		20	行政法⑤～行政裁量	
	3	民法総則②～法人		21	行政法⑥～行政手続法 i	
	4	民法総則③～法律行為		22	行政法⑦～行政手続法 ii	
	5	民法総則④～意思表示、心裡留保		23	行政法⑧～行政不服審査法 i	
	6	民法総則⑤～虚偽表示		24	行政法⑨～行政不服審査法 ii	
	7	民法総則⑥～錯誤		25	行政法⑩～行政事件訴訟法 i	
	8	民法総則⑦～詐欺・強迫		26	行政法⑪～行政事件訴訟法 ii	
	9	民法総則⑧～代理、無権代理		27	行政法⑫～国家賠償法	
	10	民法総則⑨～表見代理		28	行政法⑬～損失補償	
	11	民法物権①～物権とは		29	行政法⑭～地方自治	
	12	民法物権②～不動産物権変動		30	まとめ①	
	13	民法物権③～動産物権変動		31	まとめ②	
	14	民法物権④～担保物権総論		32	まとめ③	
	15	民法物権⑤～抵当権		33	まとめ④	
	16	行政法①～総論		34	まとめ⑤	
	17	行政法②～行政主体と行政機関		35	まとめ⑥	
18	行政法③～行政作用法		36	まとめ⑦		
成績割合	テスト	60%		学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%				
	レポート	0%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり					

シラバス

科目名	宅建対策1		担当者名	鈴木 健二	
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・(選択)・必修選択	授業時間数	36階時間(週講時数1)
授業目的	実社会における法律の役割・解釈・運用方法を学ぶことと業界における行政の役割について学ぶことを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	本講座は国家資格(法律分野)の登竜門である宅建試験合格を目標にし、実社会における法律の役割・解釈・運用方法を学ぶことを目的とする。さらに業界における行政の役割について学ぶことを目的とする。				
授業概要	1.宅建試験の概要と傾向 2.基本書の理解を課題(小テスト)において確認する。 3.テーマを設定し、ゼミ形式にて発表、課題の発掘と解決する。 4.過去問(模擬試験含む)答練と分析(弱み・強み) 5.授業まとめ				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	授業オリエンテーション		19	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 意思能力・8種制限
	2	〃		20	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 時効・代理・8種制限
	3	〃		21	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 賃貸借契・借地借家法・8種制限
	4	講義概要・指針・自己紹介		22	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 不法行為・弁済・相殺・
	5	宅:用語の定義・免許制度(免許取消)		23	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・債務不履行
	6	宅:宅地建物取引士制度		24	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・区分所有法
	7	宅:営業保証金・保証協会・広告・媒介契		25	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・税概要
	8	宅:重要事項・契約時期・書面交付帳簿・		26	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・不動産取得税
	9	宅:8種制限		27	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・固定資産税
	10	宅:報酬・監督・罰則		28	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・税概要
	11	法:都市計画1(都市計画の内容・決定・		29	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・不動産取得税
	12	法:都市計画2(開発行為・建築規制・他)		30	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・固定資産税
	13	法:建築基準1(建築確認・協定・道路定義)		31	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・農地法・国土利用計画法
	14	法:建築基準法2(用途制限・容積・建蔽率)		32	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 地価公示法・不動産鑑定
	15	法:国土利用計画法・農地法		33	確認テスト・まとめ
	16	2020試験対策		34	授業まとめ/振り返り
	17	2020試験解答、まとめ		35	〃
18	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 制限行為能力者・8種制限		36	〃	
成績割合	テスト	40%		学習FB方法	講義後に小テストを実施し解答合わせと復習 テーマの発表と質疑応答
	学習態度	30%			
	レポート	30%		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	鈴木健二行政書士事務所所長、民間の資格学校にて10年以上の指導経験(宅建・行政書士)を有する。又、民間企業の法務、宅建の実務 多数実施。				

シラバス

科目名	特別講座3A		担当者名	玉置 徹		
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・ 選択 ・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)	
授業目的	民法(債権総論・債権各論)の全体像を理解し、必要不可欠な知識を押さえ、課題解決能力の養成を支援するのが目的である。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	実務での契約を正しく理解し、将来、契約社会で正しく運用できる能力を身につけることが本授業の目標である。					
授業概要	前期は、債権法総論の重要論点について、改正法に触れつつ講義をしていく。後期は、債権法各論の典型契約の理解を中心に講義をし、その上で、各契約の問題となった事例(重要判例)をとりあげ、解説する。その際、過去に出題された提携大学のスクーリングの問題の論点の理解や答案構成についても検討していく。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1		19	契約の意義と分類、契約の成立、定款契約	
	2	オリエンテーション2		20	同時履行の抗弁権 留置権との比較	
	3	オリエンテーション3		21	契約の解除(1) 取り消しとの比較	
	4	講義の目的、概要、債権法の全体像。 六法と判例の話 事例94条 自己紹介		22	契約の解除(2) 効果	
	5	債権の目的と種類、物権との比較		23	契約の解除(3) 事例検討	
	6	債務不履行(1) 要件 3つの類型		24	売買型の契約 贈与 売買 交換	
	7	債務不履行(2) 効果 不法行為との比較		25	売買(1) 売主の担保責任 事例検討	
	8	債務不履行(3) 事例検討		26	売買(2) 事例検討	
	9	債権者代位権、詐害行為取消権		27	貸借型の契約 消費貸借 使用貸借 賃貸借	
	10	多数当事者の債権債務(1)連帯債務		28	賃貸借(1) 信頼関係破壊の法理	
	11	多数当事者の債権債務(2)保証、連帯保証、個人根保証契約		29	賃貸借(2) 不動産賃貸借の対抗要件 事例検討	
	12	債権譲渡 改正法		30	請負型の契約 請負 委任 雇用	
	13	弁済、第三者弁済		31	事務管理 不当利得	
	14	相殺、相殺の禁止		32	不法行為(1) 一般的不法行為	
	15	その他の債権の消滅自由		33	不法行為(2) 特殊的不法行為	
	16	改正法の解説		34	確認テスト・まとめ1	
	17	事例検討～問題文の取り組み方～		35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期まとめ 効果測定		36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	授業開始5分で前回の講義の小テストをして記憶を喚起し授業に入る。最後の5分で次回の予習範囲と覚える法律用語を示す		
	学習態度	20%				
	レポート	30%	成績評価			
	合計	100%				出席率80%以上 S90~100点 80~89点 B70~79点 C60~69点 D50点以下は不合格
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	玉置徹行政書士法務事務所所長 特定行政書士。世田谷区の区民講師として消費者問題(消費者契約法、悪質商法被害防止等)の啓蒙活動に参加。行政書士として区の無料相談会相談員を担当。専門は、起業支援、会社設立、その他、遺言・相続等の市民法分野に従事。					

シラバス

科目名	Word1		担当者名	大貫 芳枝	
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4 単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	Wordの実践的な操作方法をを学びつつ、履歴書に書ける認定資格のMOSの取得を目指す				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになること、文字入力及早く正確にできること、を意識して学習を積み上げ、学年末のMOS取得を目指す。MOS取得者は成績は満点とする。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書の書き方も解説 ・定期試験に実践的なビジネス文書作成を取り入れ実務に役立つスキルや知識も習得 ・年度末のMOS試験に向けてのスキルアップを行う 				
授業計画表	前期	授業内容	後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	図の挿入/図形の描画	
	2	オリエンテーション2	20	図の挿入/図形の描画	
	3	オリエンテーション3	21	参考資料の作成と管理	
	4	Wordの基本操作	22	参考資料の作成と管理	
	5	ビジネス文書について	23	スタイル設定、アウトライン	
	6	ページ設定と書式	24	スタイル設定、アウトライン	
	7	文字書式、段落書式	25	総合問題	
	8	文字書式、段落書式	26	総合問題	
	9	簡単な表のあるビジネス文書	27	総合問題	
	10	箇条書きのあるビジネス文書	28	MOS模擬問題練習	
	11	ビジネス文書課題	29	MOS模擬問題練習	
	12	印刷、ファイルの種類、プロパティ	30	MOS模擬問題練習	
	13	表やリストの作成	31	MOS模擬問題練習	
	14	表やリストの作成	32	MOS模擬問題練習	
	15	ヘッダーフッター、ページの管理	33	MOS模擬問題練習	
	16	前期期末試験	34	確認テスト・まとめ1	
	17	前期期末試験の解答解説	35	確認テスト・まとめ2	
	18	図の挿入/図形の描画	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	100%	学習FB方法		
	学習態度				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60 ~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	長年のIT系インストラクターとしての経験と、NPO法人理事として企画経営に参画し、管理業務でのAccess・Excel作成処理や対外的なビジネス文書作成などの実務、さらに新入社員研修等での講師経験も合わせ、「今望まれるITスキルの習得」ができる授業を心がけている。				

シラバス

科目名	民法3(債権総論)		担当者名	宮坂 友造	
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・(選択)・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	債権総論の全体像および民法債権編の399条～520条で定められている各規定の基本的知識(意義・要件・効果など)を理解し、条文解釈の方法、判例の読み方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事例問題を通して、論点を発見する能力、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験にも対応できる基本的な能力を身につけることを目標とします。				
授業概要	民法は、市民社会の関係を規律する法として最も重要な基本法です。本講義では、その中の民法第3編「債権」のうちの第1章総則を直接の対象とします。債権とは、「ある特定の者が他の特定の者に対して一定の行為ををなすべきことを請求しうる権利」です。例えば、ジュースを買う(売買契約)の場合、買主は売主に対しジュースの引渡しを請求する権利(債権)を有し、売主は買主に対し代金の支払いを請求する権利(債権)を有します。 このような債権は、その発生原因によって、債権の発生要件および当該債権に特有の事柄が異なります(これについては、債権各論で扱います)。しかし、他方では、全ての債権に共通する事柄もあります。本講義では、この共通する事柄、具体的には、①債権の目的、②債権の効力、③多数当事者の債権・債務関係、④債権譲渡、⑤債権の消滅という5つの項目を扱うことになります。ただし、これらはその抽象性から、具体的にどのような事柄に結びつくのか分かりにくいという問題があります。 そこで、本講義では、毎回レジュメを配布し、わかりやすい設例を挙げながら学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション1		19	多数当事者の債権債務関係①～概説、諸類型
	2	オリエンテーション2		20	多数当事者の債権債務関係②～分割債務
	3	オリエンテーション3		21	多数当事者の債権債務関係③～不可分債務
	4	債権とは 債権の種類		22	多数当事者の債権債務関係④～連帯債務 i
	5	種類債権の特定		23	多数当事者の債権債務関係⑤～連帯債務 ii
	6	債務不履行①		24	多数当事者の債権債務関係⑥～保証債務 i
	7	債務不履行②		25	多数当事者の債権債務関係⑦～保証債務 ii
	8	債務不履行に基づく損害賠償		26	多数当事者の債権債務関係⑧～保証債務 iii
	9	弁済、弁済の提供		27	弁済以外の債権消滅原因
	10	受領遅滞		28	まとめ1
	11	相殺		29	まとめ2
	12	債権者代位権①		30	まとめ3
	13	債権者代位権②		31	まとめ4
	14	詐害行為取消権①		32	まとめ5
	15	詐害行為取消権②		33	まとめ6
	16	債権譲渡①		34	確認テスト①
	17	債権譲渡②		35	確認テスト②
18	債権と第三者		36	確認テスト③	
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	前期・後期成績表送付
	学習態度	40%			
	レポート	60%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	民法4(債権各論)		担当者名	宮坂 友造	
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修(選択)・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	債権各論の位置づけおよび民法債権編の各論部分(521条～724条)で定められている各規定の基本的知識(意義・要件・効果など)を理解し、条文解釈の意義および方法、判例の読み方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事例問題を通して、論点を発見する能力、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験にも対応できる基本的な能力を身につけることを目標とします。				
授業概要	本講義では、民法第3編「債権」のうちの第2章から第5章までを直接の対象とします。債権は、その発生原因によって、契約に基づく債権と法律の規定に基づく債権に大別され、その発生要件および当該債権に特有の事柄が異なります。まず、契約に基づく債権については、契約に共通する事柄(契約の成立・効力・解除)と個別的な契約類型に分けて授業を行います。そして、法律の規定に基づく債権として、事務管理、不当利得、不法行為の3つがあり、これについて授業を行います。本講義では、以上の内容について、毎回レジュメを配布し、わかりやすい設例を挙げながら学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。				
授業計画表	前期	授業内容	後期	授業内容	
	1	オリエンテーション	19	役務提供型契約①～雇用、請負	
	2	債権各論概説	20	役務提供型契約②～委任、寄託	
	3	契約とは	21	その他の契約～和解など	
	4	契約の種類	22	不法行為①～一般不法行為	
	5	同時履行の抗弁権	23	不法行為②～特殊な不法行為	
	6	危険負担	24	不当利得①～要件・効果	
	7	契約の解除①～要件	25	不当利得②～転用物訴権、不法原因給付	
	8	契約の解除②～効果	26	事務管理	
	9	売買	27	まとめ1	
	10	契約不適合責任(担保責任)①	28	まとめ2	
	11	契約不適合責任(担保責任)②	29	まとめ3	
	12	契約不適合責任(担保責任)③	30	まとめ4	
	13	賃貸借①～意義、借地借家法	31	まとめ5	
	14	賃貸借②～賃借権の譲渡・転貸 i	32	まとめ6	
	15	賃貸借③～賃借権の譲渡 ii	33	まとめ7	
	16	賃貸借④～第三者との関係	34	確認テスト①	
	17	使用貸借	35	確認テスト②	
	18	消費貸借	36	確認テスト③	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%			
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	民法5(親族・相続)		担当者名	白 瑞		
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・ <u>通 年</u> 必 修・ <u>選 択</u> 必修選択	授 業 時 間 数	72時 間(週講時数2)	
授業目的	親族法・相続法の諸制度とその運用を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	親族法・相続法上の諸制度とその運用について学び、そのうえで、これらの制度の問題点もを理解することを達成目標とする。					
授業概要	本講義は、親族法・相続法を対象とする。親族法は、夫婦、親子および他の親族間の関係を規律し、相続法は、死者の法であり、人の死による財産の変動を規律している。これらの領域は一般に家族法と呼ばれ、財産法と異なる原理に基づいて制定されている。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1		19	親権(1) 身上監護・財産管理	
	2	オリエンテーション2		20	親権(2) 児童虐待・親権制限・児童福祉法関連	
	3	オリエンテーション3		21	未成年後見	
	4	婚姻の成立要件		22	成年後見	
	5	婚姻の無効・取消し		23	扶養	
	6	婚姻の効果(1) 夫婦の氏、貞操義務		24	相続法総論	
	7	婚姻の効果(2) 夫婦財産制		25	相続人	
	8	協議離婚・裁判離婚		26	相続の承認と放棄	
	9	離婚の効果(1) 財産分与		27	相続財産	
	10	離婚の効果(2) 子の処遇等		28	具体的相続分	
	11	内縁		29	遺産共有	
	12	レポート課題(1)		30	遺産分割	
	13	レポート課題(2)		31	相続回復請求権	
	14	実親子法(1) 嫡出推定制度		32	遺言	
	15	実親子法(2) 推定の及ばない子		33	遺留分	
	16	実親子法(3) 認知制度		34	確認テスト・まとめ1	
	17	養子法(1) 普通養子		35	確認テスト・まとめ2	
18	養子法(2) 「藁の上からの養子」・特別養子		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%				
	レポート	70%		成績評価	出席率70%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>0%					
講師プロフィール						

シラバス

科目名	行政書士対策1		担当者名	宮坂 友造	
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・ 選択 ・必修選択	授業時間数	144時間(週講時数4)
授業目的	行政書士試験で必要となる商法と一般知識および民法の債権法・家族法について学びます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	この講義では、商法、民法(債権法・家族法)に関する基礎的な法的知識と法的思考力、および行政書士試験に必要な一般知識を身に着けることを目標とします。				
授業概要	授業中はテキストを用い、行政書士試験において必要となる商法、民法、一般常識の基礎的知識を解説します。また六法で条文を参照したり、判例を読むことも行います。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション		19	一般知識⑤～経済 ii
	2	商法総則①～商人、商業登記		20	一般知識⑥～社会
	3	商行為		21	家族法①～婚姻
	4	会社法総論		22	家族法②～親子 i
	5	会社の種類・分類		23	家族法③～親子 ii
	6	持分会社		24	家族法④～親権
	7	株式会社①～総論		25	家族法⑤～親権 ii
	8	株式会社②～株式		26	家族法⑥～親権 iii
	9	株式会社③～機関 i		27	家族法まとめ
	10	株式会社④～機関 ii		28	債権法①～責任財産保全 i
	11	株式会社⑤～機関 iii		29	債権法①～責任財産保全 ii
	12	株式会社⑥～設立、資金調達		30	債権法②～債権譲渡 i
	13	株式会社⑦～組織変更など		31	債権法②～債権譲渡 ii
	14	会社法まとめ		32	債権法③～契約法総論 i
	15	一般知識①～政治 i		33	債権法③～契約法総論 ii
	16	一般知識②～政治 ii		34	債権法④～契約不適合責任 i
	17	一般知識③～政治 iii		35	債権法④～契約不適合責任 ii
18	一般知識④～経済 i		36	債権法まとめ	
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期成績表送付
	学習態度		40%		
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	宅建対策1		担当者名	鈴木 健二		
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・(選択)・必修選択	授業時間数	36階時間(週講時数1)	
授業目的	実社会における法律の役割・解釈・運用方法を学ぶことと業界における行政の役割について学ぶことを目的とする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	本講座は国家資格(法律分野)の登竜門である宅建試験合格を目標にし、実社会における法律の役割・解釈・運用方法を学ぶことを目的とする。さらに業界における行政の役割について学ぶことを目的とする。					
授業概要	1.宅建試験の概要と傾向 2.基本書の理解を課題(小テスト)において確認する。 3.テーマを設定し、ゼミ形式にて発表、課題の発掘と解決する。 4.過去問(模擬試験含む)答練と分析(弱み・強み) 5.授業まとめ					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	授業オリエンテーション		19	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 意思能力・8種制限	
	2	〃		20	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 時効・代理・8種制限	
	3	〃		21	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 賃貸借契・借地借家法・8種制限	
	4	講義概要・指針・自己紹介		22	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 不法行為・弁済・相殺・	
	5	宅:用語の定義・免許制度(免許取消)		23	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・債務不履行	
	6	宅:宅地建物取引士制度		24	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・区分所有法	
	7	宅:営業保証金・保証協会・広告・媒介契		25	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・税概要	
	8	宅:重要事項・契約時期・書面交付帳簿・		26	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・不動産取得税	
	9	宅:8種制限		27	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・固定資産税	
	10	宅:報酬・監督・罰則		28	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 都市計画法・税概要	
	11	法:都市計画1(都市計画の内容・決定・		29	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・不動産取得税	
	12	法:都市計画2(開発行為・建築規制・他)		30	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・固定資産税	
	13	法:建築基準1(建築確認・協定・道路定義)		31	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 建築基準法・農地法・国土利用計画法	
	14	法:建築基準法2(用途制限・容積・建蔽率)		32	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 地価公示法・不動産鑑定	
	15	法:国土利用計画法・農地法		33	確認テスト・まとめ	
	16	2020試験対策		34	授業まとめ/振り返り	
	17	2020試験解答、まとめ		35	〃	
18	宅建試験におけるテーマゼミ(学生発表) 制限行為能力者・8種制限		36	〃		
成績割合	テスト	40%		学習FB方法	講義後に小テストを実施し解答合わせと復習 テーマの発表と質疑応答	
	学習態度	30%				
	レポート	30%		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	鈴木健二行政書士事務所所長、民間の資格学校にて10年以上の指導経験(宅建・行政書士)を有する。又、民間企業の法務、宅建の実務 多数実施。					

シラバス

科目名	特別講座3A		担当者名	宮坂 友造	
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・ 選択 ・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	この授業では、中央大学通信教育部の民法3、民法4、憲法、刑法総論のレポート課題に関する解説を行います。各課題に必要な法的知識を習得し、その知識を生かして文章化する法的思考力を養うことを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	達成目標は、レポート課題の合格および各科目の単位取得です。				
授業概要	授業中には配布した資料を読み込み、六法で条文を参照したり、判例を読むことも行います。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション、レポート作成について		19	憲法第2課題①
	2	民法3第1課題		20	憲法第2課題②
	3	民法3第1、2課題		21	憲法第3課題①
	4	民法3第2課題		22	憲法第3課題②
	5	民法3第3課題①		23	憲法第4課題①
	6	民法3第3課題②		24	憲法第4課題②
	7	民法3第4課題①		25	刑法総論第1課題
	8	民法3第4課題②		26	刑法各論第1課題、第2課題
	9	民法4第1課題①		27	刑法各論第2課題
	10	民法4第1課題②		28	刑法各論第3課題
	11	民法4第2課題①		29	刑法各論第4課題
	12	民法4第2課題②		30	刑法各論第5課題
	13	民法4第3課題①		31	確認テスト・まとめ1
	14	民法4第3課題②		32	確認テスト・まとめ2
	15	民法4第4課題①		33	確認テスト・まとめ3
	16	民法4第4課題②		34	確認テスト・まとめ4
	17	憲法第1課題①		35	確認テスト・まとめ5
	18	憲法第1課題②		36	確認テスト・まとめ6
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度	40%			
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> 20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	Word1		担当者名	大貫 芳枝	
学科	法律情報科(大学コース)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	Wordの実践的な操作方法をを学びつつ、履歴書に書ける認定資格のMOSの取得を目指す				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになること、文字入力及早く正確にできること、を意識して学習を積み上げ、学年末のMOS取得を目指す。MOS取得者は成績は満点とする。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書の書き方も解説 ・定期試験に実践的なビジネス文書作成を取り入れ実務に役立つスキルや知識も習得 ・年度末のMOS試験に向けてのスキルアップを行う 				
授業計画表	前期	授業内容	後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	2	オリエンテーション2	20	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	3	オリエンテーション3	21	参考資料の作成と管理	
	4	Wordの基本操作	22	参考資料の作成と管理	
	5	ビジネス文書について	23	スタイル設定、アウトライン	
	6	ページ設定と書式	24	スタイル設定、アウトライン	
	7	文字書式、段落書式	25	総合問題	
	8	文字書式、段落書式	26	総合問題	
	9	簡単な表のあるビジネス文書	27	総合問題	
	10	箇条書きのあるビジネス文書	28	MOS模擬問題練習	
	11	ビジネス文書課題	29	MOS模擬問題練習	
	12	印刷、ファイルの種類、プロパティ	30	MOS模擬問題練習	
	13	表やリストの作成	31	MOS模擬問題練習	
	14	表やリストの作成	32	MOS模擬問題練習	
	15	ヘッダーフッター、ページの管理	33	MOS模擬問題練習	
	16	前期期末試験	34	確認テスト・まとめ1	
	17	前期期末試験の解答解説	35	確認テスト・まとめ2	
	18	表作成課題(相対参照と絶対参照)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	100%	学習FB方法		
	学習態度				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60 ~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	長年のIT系インストラクターとしての経験と、NPO法人理事として企画経営に参画し、管理業務でのAccess・Excel作成処理や対外的なビジネス文書作成などの実務、さらに新入社員研修等での講師経験も合わせ、「今望まれるITスキルの習得」ができる授業を心がけている。				